

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 企業の概要

社名	株式会社アイエンター	都道府県	東京都
業種	情報通信業	従業員数	160名
事業概要	システム開発・サービス販売		

## テレワーク実施概要

雇用上の規定	別途ルール策定
テレワーク推進担当部門	採用・広報Gr
テレワーク対象者	全社員
実施者数	93名
実施日数	概ね週3回～4回

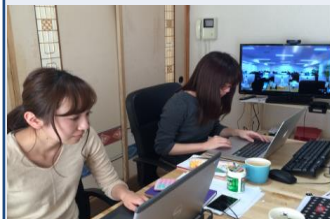
## テレワークの導入・拡大の経緯

社員の自由な働き方の実現、在宅勤務導入を目指す当社。北海道北見市様が実施した「ふるさとテレワーク推進事業」の効果実証への参加を通して、職住一体型のサテライトオフィスを設置できたことが、大きな一歩でした。実際にテレワークを体験した社員からも、通勤時間ゼロ・余暇の満喫・家族との時間・同僚とのコミュニケーション、といった点で満足度が非常に高く、福利厚生の一環としてもテレワークが社内に浸透・拡大しています。また、北見市や地元企業、地元大学と連携したIT教育プログラムの実施、サテライトオフィスを活用した地元大学生と当社テレワーカーとのインターンシップも開催しております。

## テレワークの概要・特徴

### <北海道北見市に職住一体型のサテライトオフィスを設置>

- ◇プロジェクト毎、入社時期、業務内容毎、家族毎など様々なメンバーで実施
- ◇1回の期間は7～10日程度、人数は3～4名で実施
- ◇社員、家族の交通費は全て会社から支給
- ◇土日必ず挟む期間で実施し、余暇をオホーツクで過ごしてもらう
- ◇「北見テレワークブログ」を開設し、テレワークや北見の魅力についての情報をテレワーカー自らが発信
- ◇サテライトオフィス・東京本社・大阪支店・ベトナム支店にテレビ会議システムを導入し、テレワーク中でも普段と変わらない打合せやコミュニケーションが可能
- ◇地元農園をお借りしており育成・収穫の体験や収穫した野菜の支給が可能



## テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

- ◇地元大学・専門学校からの採用
  - └ 16卒 地元大学より1名、専門学校から1名
  - └ 17卒 地元大学より4名、専門学校から1名 採用実績
- ◇部門間コミュニケーションの活性化
  - └ 営業・開発・デザイナー・事務の全職種、東京・大阪各拠点の社員を混ぜたメンバー構成にしたことによって、普段のコミュニケーション量も増え業務がよりスムーズに実施されるようになった。
- ◇将来的な在宅勤務制度へのあしがかり
  - └ 現状での勤務管理の問題点、共有化などが顕在化され改善実施の機会になった。
- ◇社員福利厚生としての従業員満足度の向上
  - └ テレワーク参加者の満足度が非常に高く、2回目希望も90%に達するなどの効果が見られた。
  - └ 同行家族からも一緒に過ごす時間も長く、ゆっくりと家事ができたなど高評価であった。
- ◇テレビ会議システムの導入により、本社・支店間・海外での常時接続が可能となり、会社全体の一体感が創出できた。